

令和4年12月19日

川崎市議会議長 橋本 勝 様

高津区在住者

宮内新横浜線（子母口工区）の信号設置に関する請願

請願の要旨

通学路やバス停・横断歩道付近など、適切な場所に信号機の設置を要望します。

請願の理由

都市計画道路・宮内新横浜線の子母口工区の工事が始まり、2021年（令和3年）11月30日に住民説明会があり、多くの住民が参加し、いろいろな意見・要望が出されました。

特に多かったのが信号の設置についてです。計画では、この工事区間の尻手黒川線の信号から鷹巣橋の信号まで約300m区間には、信号が一つもありません。住民からは、「バス停に行くにも信号のない4車線道路を渡らなければならない。」、「通学路の安全性をどう確保するのか。」などの意見が出されました。行政は信号を付けない理由として、「信号機間の距離が近い。」と述べましたが、工事区間手前（ライフ前）の信号の距離は120mしかないのに付いています。車の多い道路には信号を設置するが、児童や歩行者が通る道路には設置しないということになり、歩行者の安全性の軽視だと言わざるを得ません。

2022年（令和4年）11月17日の住民説明会でも、住民から、「一番の問題は信号のこと。押しボタン式でも良いから検討を。」、「完成後、信号が必要かどうかの検証を。」の声など、一番多い要望は信号機設置に関することでした。

この地域の町会長、自治会長など7人が世話人となり、高津警察署にも要望

書を届け、また、子母口小学校とも懇談して、各町会、自治会、小学校などで回覧を回し、署名を集め、12月9日には2,265筆の署名を市長に提出しており、6町会・自治会、学校を含めた切実な要望となっています。

是非、交通管理者と十分協議をして、通学路やバス停・横断歩道付近など、適切な場所に信号機を設置するよう要望します。

紹介議員

大	島	明
岩	隈	千尋
宗	田	裕之
平	山	浩二
吉	沢	章子
月	本	琢也
重	富	達也